

2018 ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ



継承部会による県外での被爆体験講話のようす

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
設立の意義	
沿 革	
事 業	
会 員 制 度	
組 織 図	
公益財団法人 長崎平和推進協会事業概要	2
I 平和推進事業	
1 発刊	2
2 平和意識の啓発	3
3 国際平和交流	10
4 部会活動	11
II 長崎原爆資料館運営事業	11
III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業	11
IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
V 収益事業	13
フォト特集！2017年被爆72年を振り返って	14
公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き	15



公益財団法人 長崎平和推進協会

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身を持って体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があるところから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長 秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望めます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開して

きました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

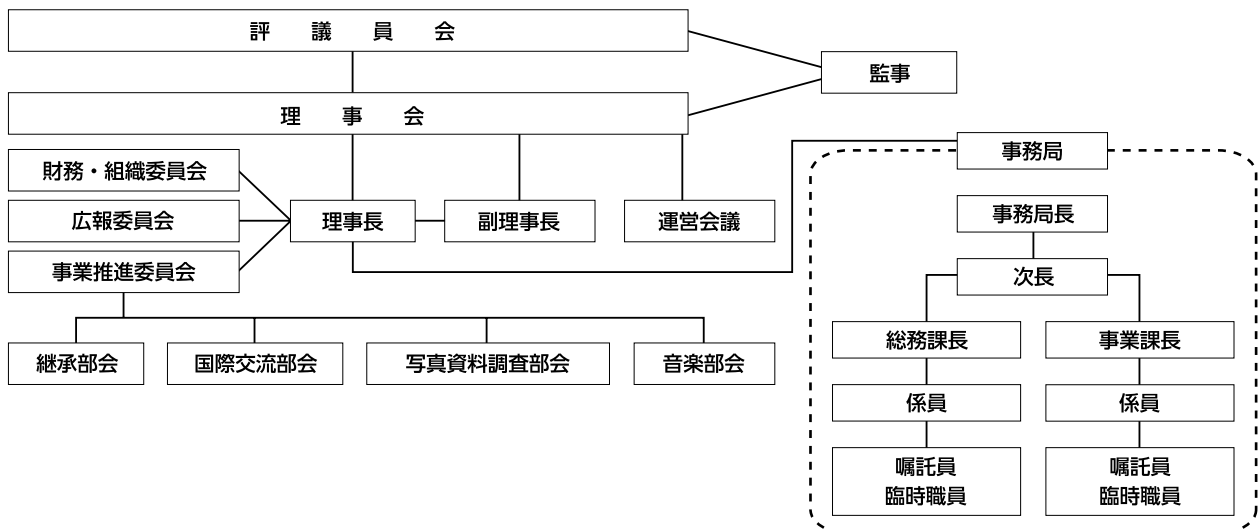
- (1) 会費

維持会員(個人)	年額	3,000円以上
賛助会員(団体・個人)	年額	10,000円以上
学生会員	年額	1,000円以上
- (2) 部会

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに、円滑な事業遂行に寄与する。

 - ①継承部会
 - ②国際交流部会
 - ③写真資料調査部会
 - ④音楽部会

組織図





公益財団法人 長崎平和推進協会

I 平和推進事業

1 発刊

① 会報「へいわ」の発行(年4回)

(平成30年3月現在157号発行)

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌を発行しています。

会員や関係各機関への送付のほか、平成22年度から広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、協会ホームページに掲載しています。

1回あたりの発行部数 3,000部 (A4判8ページ)



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行(年1回)

協会が設立されてから、これまでにわたる事業内容をまとめ、平和を考える時の参考資料として活用できるよう、ブックレット「平和のあゆみ」を、昭和61年から平成16年まで毎年発行してきました。(A5判130ページ)

平成17年度版からは、1年間の出来事を中心に、より見やすいように体裁を改め会員や関係各機関へ発行しています。

1回あたりの発行部数 2,000部 (A4判16ページ)



③ 情報BOXの発行(月1回)

会報「へいわ」発行の合間に、事務局の動きや行事の開催予定などの最新情報を掲載して、役員・評議員、部会員や平和案内人などに毎月発行しています。

1回あたりの発行部数 約300部 (A4判・両面1枚)



④ パンフレットの発行

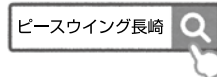
協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会案内パンフレット」を作製し、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館などで配布しています。



⑤ ホームページ (URL : <https://www.peace-wing-n.or.jp/>)

協会の設立趣旨や事業概要、被爆体験講話・平和案内人の申込をはじめ、会報「へいわ」などの情報を掲載しています。

※協会の愛称「ピースウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



2 平和意識の啓発

① 被爆体験の継承

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

修学旅行などで長崎を訪れる県外の学校・団体からの申込が多数ですが、海外からの団体や、長崎県内の小中高校などにも講話を行っています。

高齢化する継承部会員の体力などを鑑み、平成28年4月から講話実施時間を1時間短縮し、9時から20時まで（平成28年3月までは21時まで）に変更しました。

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成19年度	1,060
平成20年度	1,192
平成21年度	1,282
平成22年度	1,333
平成23年度	1,352
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227
平成29年度	1,253



被爆体験講話の様子

講話件数、受講者の内訳

区 分	平成28年度			平成29年度		
	講話件数		受講人数	講話件数		受講人数
	件数	うち市内		件数	うち市内	
小 学 校	549	67	53,557人	538	69	51,804人
中 学 校	350	37	45,218人	378	39	54,617人
高等学校	216	4	42,639人	225	4	45,729人
一 般	112	16	10,177人	112	19	10,538人
計	1,227	124	151,591人	1,253	131	162,688人

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小中学校・高校・一般の講話件数

**② 国内外での継承活動**

長崎市内での活動以外にも、全国の自治体などから依頼を受け、その市町村での講話会を行っています。被爆者(継承部会員)による被爆体験講話の他、被爆後の惨状を写した写真展示やDVD上映なども実施し、原爆の脅威や惨状を伝え、核兵器廃絶と平和の大切さを訴えています。

長崎市と開催市町及び協会の共催で行う「県外原爆展」には、被爆体験講話を行う継承部会員だけでなく、写真資料調査部会員を派遣し、来場者に写真パネルなどの展示解説も行っています。

この他、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、継承部会員が県内市町の小中学校、県外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

[平成29年度 県外での被爆体験講話]

開催都市	企画(主催)	実施日	受講人数	摘要
大阪府八尾市	八尾市	7月4日~7日	3,768人	
宮崎県日向市	日向市	7月18日	488人	
島根県出雲市	出雲市、長崎市、協会	8月6日・7日	410人	県外原爆展
宮崎県小林市	小林市、長崎市、協会	8月30日・31日	160人	県外原爆展
千葉県浦安市	浦安市	10月1日・2日	1,083人	
神奈川県藤沢市	藤沢市	10月18日・19日	2,463人	
福井県敦賀市	敦賀市、長崎市、協会	11月5日・6日	260人	県外原爆展
鹿児島県鹿児島市	鹿大祭統一実行委員会	11月12日	30人	
新潟県柏崎市	柏崎市	11月24日	700人	

[長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業]**・県内市町 (小中学生対象)**

派遣市町	実施場所	実施日	受講人数	派遣市町	実施場所	実施日	受講人数
雲仙市	小学校	6月6日	123人	大村市	小・中学校	6月26日	815人
松浦市	小学校	6月15日	140人	佐世保市	小・中学校	6月29日	1,040人
佐々町	中学校	6月15日	460人	壱岐市	中学校	6月30日	240人
五島市	小・中学校	6月16日	97人	南島原市	中学校	7月12日	338人
小値賀町	小学校	6月21日	123人	西海市	小・中学校	7月14日	356人
波佐見町	小学校	6月23日	166人				

・県外大学 (留学生対象)

大学名	実施日	受講人数	大学名	実施日	受講人数
神戸大学	7月5日	170人	佐賀大学	12月13日	50人
千葉大学	7月14日	100人	京都外国語大学	1月19日	300人
早稲田大学	7月15日	200人	九州大学	1月22日	60人

[平成29年度 海外での被爆体験講話]

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が主催する「海外原爆展」に継承部会員を派遣し、被爆体験講話を行いました。

開催地	イベント名	講話実施日	講話者
ベトナム社会主義共和国 ハノイ市	海外原爆展 「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」 (9月25日～11月5日開催)	9月25日～27日 (計4回)	森田 博満



被爆体験講話の様子



展示会場での学生との交流

(ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学)

③ 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習や写真展などの開催に役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

[原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）貸出状況]

区分	平成28年度			平成29年度		
	写真パネル	DVD（ビデオ）		写真パネル	DVD（ビデオ）	
	件数	件数	本数	件数	件数	本数
小学校	1	1	1	3	5	10
中学校	1	11	23	0	17	33
高等学校	3	22	50	2	24	51
一般（自治体など）	14	25	49	7	24	45
計	19	59	123	12	70	139



④ 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施してきました。平成29年度は、講談師の一龍斎春水氏をお招きして、心温まる講演をいただきました。

〈これまでの主な講演会（抜粋）〉

開催日	講師(敬称略)	演題	備考
平成9年10月26日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	国連軍縮週間講演会
平成11年7月28日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成11年12月17日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成15年7月25日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	協会設立20周年記念 追悼平和祈念館開館記念
平成16年2月25日	美輪明宏(歌手・タレント)	「愛と平和の祈りをこめて」	協会設立20周年記念
平成16年12月18日	吉村作治(大学教授)	「エジプト古代史から 学ぶ戦争と平和」	
平成17年12月9日	なかにし礼(作家)	「自由から創造へ」	被爆60周年
平成18年12月6日	島田洋七(タレント)	「元気・勇気・やる気」	
平成20年2月22日	海老名香葉子(作家)	「泣いて 笑って 頑張って」	
平成21年2月6日	アグネス・チャン(歌手)	「みんな地球に生きる人」	協会設立25周年記念
平成22年2月13日	三遊亭好楽(落語家) 他	「平和寄席」	
平成23年1月30日	ビョンジンイル 辺 真一(ジャーナリスト)	「だれでもわかるコリアレポート ～日本と朝鮮半島の将来～」	
平成24年2月18日	八名信夫(俳優)	「にぎりめしひとつ この 平和を大切にしてほしい」	
平成25年3月16日	上條恒彦(俳優) 加賀美幸子(アナウンサー)	「平和朗読～明日、 あなたが語るナガサキ」	
平成26年2月9日	神田香織(講談師)	「はだしのゲンを 語り続けて」	
平成27年2月7日	蓮池薫(大学准教授)	「夢と絆」	
平成27年12月13日	カンサンジュン 姜尚中(政治学者)	「ナガサキ」と「フクシマ」の 間―核なき世界を求めて―	被爆70周年
平成29年2月19日	宮川泰夫(元アナウンサー)	であいふれあいひびきあい ～「のど自慢」12年の旅から～	
平成30年2月12日	一龍斎春水(講談師)	一龍斎春水が語る「火垂るの墓」	



姜尚中氏



宮川泰夫氏



一龍斎春水氏

⑤ 国連軍縮週間「市民のつどい」

昭和53年5月23日、第1回国連軍縮特別総会において、国連の日である10月24日から1週間が「国連軍縮週間」と定められて以来、世界各地で様々な行事が行われています。

協会では、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的に、協会が発足した昭和58年から会員や市民の皆様の協力のもと「市民のつどい」を開催しています。

平成29年度開催状況

開催日	10月28日(土) ※雨のため規模を縮小しての実施
場所	長崎原爆資料館前階段下広場、長崎原爆資料館いこいの広場、円形スペース
コーナー	戦時食コーナー、綿菓子・ポップコーンコーナー、エコ風船コーナー、折り鶴コーナー、ミニコンサート、原爆写真展示コーナー



戦時食コーナー



綿菓子・ポップコーンコーナー



エコ風船コーナー

⑥ 秋月グラント

平成10年、協会設立15周年を機に、「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を対象として助成してきました。

平成16年、財団設立20周年を迎えるにあたり、協会の創始者で初代理事長の故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」として多くの方々に助成制度を利用していただけよう門戸を広げました。

平成29年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施日・場所
活水高等学校	クリティカル・イシューズ・フォーラム	日・米・露の高校生が被爆の実相を学び、核兵器の問題について研究発表・討議を行う。	4月1日～5日 活水高校、 長崎原爆資料館、 追悼平和祈念館
長崎親善人形の会 (瓊子の会)	日米人形交流90周年記念事業 日米リレー・シンポジウム 「未来への伝言～ナガサキから」	紙芝居や歌と演奏の子どもパフォーマンスと子ども中心に組み立てたシンポジウムを語りかけ形式で行う。	8月7日～13日 長崎歴史文化 博物館ホール 及びエントランス
「記憶風景を縫う」 実行委員会	展覧会「記憶風景を縫う ーチリのアルピジェラと 災禍の表現」	政治的暴力に由来する災禍の記憶と、平和への願いを伝達・継承する手段として手仕事に注目し、展覧会を行う。	8月29日～ 9月3日 長崎県美術館 県民ギャラリーA室
長崎の平和と文化を 推進する会	～長崎から平和を～ 「長崎コレジオ」講座	宗教改革500年、出島橋復元、斉藤茂吉初来崎100年を記念テーマに講演会や座談会を行う。	9月30日、 10月14日、 10月21日 長崎歴史文化博物館



⑦ 平和案内人の育成と派遣

原爆投下から72年が経過し、被爆の惨状を知る被爆者も高齢となりその数も年々少なくなっています。協会ではこのような現状を踏まえ、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆遺構のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組んでいます。これまでに平成16年度の第1期生から6回の育成講座を実施し、現在6期生までの165人が登録・活動しています。

長崎県内の小中学生や長崎を訪れる観光客などを、長崎原爆資料館や被爆の痕跡を残す遺構を案内することにより、原爆の恐怖と平和の大切さへの理解を深めていただいています。

◆活動内容

①長崎原爆資料館常駐ガイド(無料)

長崎原爆資料館正面玄関に待機し、案内を希望する来館者を30分～1時間程度、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館の館内を無料で案内します。

②長崎原爆資料館予約ガイド(1,500円/平和案内人1人)

学校、一般団体客から事前に申込があった場合、ガイド1人につき10人をめどに、長崎原爆資料館と追悼平和祈念館を案内します。

③碑めぐりガイド(1,500円/平和案内人1人)

長崎県内の学校・一般団体客から事前に申込があった場合、ガイド1人につき10人をめどに、平和公園や周辺の被爆建造物等の希望に応じた箇所を案内します。

◆活動実績(平成29年度)

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	2,400件	10,950人	1,425人
資料館予約ガイド	58件	1,814人	197人
碑めぐりガイド	334件	15,361人	1,639人
合計	2,792件	28,125人	3,261人

研修活動

平和案内人と事務局との意見交換や研修のため、年3回程度の全体会の開催と、各班の研修を実施しています。

平成29年度は、船山副理事長のこれまでの被爆継承活動についての講話や、樹木医の久保田健一氏による被爆樹木についての研修などを行いました。



長崎原爆資料館常駐ガイド



碑めぐりガイド



久保田健一氏の研修

⑧ 共催・後援事業

平成29年度 共催・後援事業

事業名	主体団体	開催日	開催場所	区分
青少年ピースボランティア 育成事業	長崎市	4月7日 ～平成30年3月31日	長崎原爆資料館他	共催
第29回 ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民 長崎集会実行委員会	6月11日	長崎大学医学部 長順会館	共催
第9回～語り合おう in Nagasaki ～外国人による 日本語弁論大会	同実行委員会	6月17日	追悼平和祈念館 交流ラウンジ	共催
第10回「紙しばい」発表会	紙しばい会	7月23日	長崎原爆資料館 平和学習室	後援
第32回長崎平和音楽祭	同実行委員会	7月29日	長崎市平和会館ホール	共催
国際平和シンポジウム 「核兵器廃絶への道」	朝日新聞社他	7月29日	広島国際会議場	後援
第64回長崎原爆忌 平和祈念俳句大会	同実行委員会	8月5日	長崎原爆資料館 平和学習室	後援
日米人形交流90周年事業	長崎親善人形の会 (瓊子の会)	8月6日～20日	長崎原爆落下中心地他	後援
第9回平和首長会議総会	同実行委員会	8月7日～10日	長崎大学中部講堂他	後援
第55回原爆忌文芸大会	NPO法人 長崎国際文化協会	8月7日～13日	長崎ブリックホール 3階会議室	後援
被爆72年 連合2017 平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館 メインアリーナ	後援
2017ピースアクション inナガサキ虹のひろば	長崎県生活協同組合連合会 日本生活協同組合連合会	8月8日	長崎市民会館 文化ホール	後援
青少年ピースフォーラム事業	長崎市	8月8日・9日	長崎市平和会館他	後援
シンポジウム：核兵器禁止条約 成立が切りひらく地平	核兵器廃絶地球市民 長崎集会実行委員会	9月30日	長崎原爆資料館ホール	共催
～長崎から平和を～ 「長崎コレジオ」講座	長崎の平和と文化を 推進する会	9月30日、 10月14日、21日	長崎歴史文化博物館	後援
松添さんを偲んで～ 長崎市役所OB美術展	長崎県市町村職員年金者 連盟長崎支部	10月31日 ～11月26日	ナガサキ ピースミュージアム	後援
第39回 長崎YMCA 平和の 使者クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA 長崎ワイズメンズクラブ	11月20日 ～12月25日	長崎YMCA他	後援
長崎国際平和映画フォーラム 2017	国立長崎原爆死没者 追悼平和祈念館	12月9日・10日	長崎原爆資料館 ホール他	後援



3 国際平和交流

① アジア青年平和交流事業

アジア諸国と日本の若者との交流事業は、平成15年、協会設立20周年の記念事業としてスタートし、長崎と韓国やマレーシアなどの若者がお互いの国を相互訪問して交流を図ってきました。

平成23年度から、「相互訪問方式」から「企画採用方式」に変更し、若者自身が企画したプログラムを公開審査のうえ、協会から若者グループへの委託事業として実施しています。

平成29年度は、過去最多の5チームを認定しました。

【相互訪問の実績】

- 第1回（平成15年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）
- 第2回（平成16年）韓国青年の来崎（7人）長崎青年の訪韓（7人）
- 第3回（平成17年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）
- 第4回（平成18年）長崎青年の訪マレーシア（5人）マレーシア青年の来崎（2人）
- 第5回（平成19年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）
- 第6回（平成20年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）マレーシア青年の来崎（2人）
- 第7回（平成21年）長崎青年の訪マレーシア（5人）
- 第8回（平成22年）マレーシア・韓国青年の来崎（4人）

【公開審査認定事業】

- 平成23年度 活水高等学校 平和学習部「いしぶみもり活動」
- 平成24年度 長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクトA「国際交流サロンIN長崎」
長崎大学 映画映像制作研究サークル^{とまと}止止「平和の絵／映像制作」
長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクトB「被爆者DVD作成」
- 平成25年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
長崎外国語大学 国際交流サロンチーム「Sweets Champion!」
- 平成26年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
長崎外国語大学 2014国際交流プロジェクト「世界の料理を食べようB級グルメ」
- 平成27年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
長崎外国語大学 国際交流プロジェクト
長崎県立大学 金村研究室
長崎大学 Peace' story JPN
- 平成28年度 長崎県立大学 金村先生と愉快的な学生たち
活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
- 平成29年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」
長崎外国語大学 国際交流プロジェクト
長崎大学 Peace Caravan隊
長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」
長崎純心大学 Green Pieces

② 外国人と市民の集い

協会の国際交流部会主催で、市内在住外国人や留学生と交流を深め、長崎の平和の願いを理解してもらうため、昭和62年から国際交流の集いを開催しています。

第31回 開催日 平成29年11月4日（土）長崎原爆資料館平和学習室

4 部会活動

① 継承部会

自らの体験などを、「被爆体験講話」として話しています。年間実績など、講話の詳細は3～5ページに掲載しています。

講話以外にも、部会内に6つの事業班を作り、部会員が当時の様子や体験を話しながら原爆遺跡などを巡る市民対象碑めぐりの開催や、市民のつどいでのエコ風船コーナーへの協力、部会員の親睦を深めるための広報紙発行など、様々な活動に取り組んでいます。

② 写真資料調査部会

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。平成29年度は、長崎市立図書館の多目的ホールで「山端庸介生誕100年記念写真展」を開催しました。

写真資料調査部会の前身は昭和54年発足の「長崎の被爆写真調査会」で、昭和58年の協会発足時に協会の部会となりました。

③ 国際交流部会

新しく長崎に来た留学生や社会人の皆さんに市民との出会いの機会を提供する4月の「ポットラックパーティー」、外国の方に国の紹介や研究内容など様々なことを話していただく「国際交流のタペ」などを開催しています。最大の魅力は、その場で疑問や知りたいことを尋ね、すぐに回答していただけることです。どなたでも参加できる、親しみやすい集まりです。

④ 音楽部会

音楽を通じて平和を訴えることを目的として、国連軍縮週間行事の「市民のつどい」において、合唱などを行っています。また、恒例の長崎平和音楽祭実行委員会の主要メンバーとしても活躍しています。



写真資料調査部会



国際交流部会の折り鶴コーナー
（「市民のつどい」にて）



音楽部会の合唱
（「市民のつどい」にて）

II 長崎原爆資料館運営事業（原爆資料館原爆・平和総合案内業務）

長崎原爆資料館展示室の観覧料徴収や、正面玄関での総合案内をはじめ、展示物の案内、平和公園周辺を含めた市内の観光施設のルート案内など長崎原爆資料館の運営の一翼を担うことにより、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。



III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業（原爆資料館図書資料整理業務）

図書室としての情報発信の観点から、原爆被爆の実相や平和推進に関する様々な書籍の購入や資料の収集、整理などを通じて、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。



IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（平成29年度の主な事業）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の施設管理と事業運営を国から受託して、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内公開しています。また、死没者名簿を保管しています。

年度別登録状況

年 度	遺影の登録者数
平成27年度	326人
平成28年度	338人
平成29年度	285人
累計	9,026人

被爆体験記などの収集・整理・公開、展示

収集した被爆体験記を館内の情報端末機器などで公開・展示しています。

収集状況

年 度	被爆体験記の収集数
平成27年度	28人分
平成28年度	73人分
平成29年度	27人分
累計	1,274人分

被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲を持ちながらその執筆が困難な被爆者を対象として職員による聞き取りと代筆を行います。平成17年度から累計14人の執筆補助を行いました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学医歯薬学総合研究科の協力をいただき、追悼平和祈念館と五島市をインターネット会議システムで結び、健康維持に役立つ健康講話を10回実施しました。

海外原爆展の開催

9月25日から11月5日の間、ベトナムの首都・ハノイ市で開催しました。開催期間中7,169人の来場がありました。平成17年度からの開催国、都市数は12か国・19都市、累計来場者数は104,192人となりました。

ピースネットの実施

追悼平和祈念館と遠隔地の学校などをインターネット会議システムで結んで被爆体験講話などを実施しており、タイ、ロシアなどの海外を含めて22回実施しました。



被爆体験記執筆補助



ピースネット

平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しており、英語13人、韓国・朝鮮語10人、中国語8人が修了しました。

アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和のネットワーク作りを推進するプログラムを実施しており、マレーシア5人、韓国5人、中国4人の若者と長崎の若者が交流を深めました。

被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」は、追悼平和祈念館内での常駐朗読を始めとした朗読活動を行いました。(常駐朗読：182回、定期朗読会：16回、派遣朗読：39回、朗読劇など6回)



被爆体験を語り継ぐ 永遠の会

長崎国際平和映画フォーラム

12月9日と10日の2日間、アニメ「この世界の片隅に」などの映画4作品を上映し、特別プログラムとして永遠の会と無名塾による朗読劇などを行いました。

企画展の開催

テーマに沿った被爆体験記を選出し、追悼平和祈念館が保有する資料とともに企画展を開催しました。

平成29年度開催実績

- ・ 第7回企画展「原爆の記憶」 平成29年1月30日～ 12月25日
- ・ 第8回企画展「原爆と救護」 平成30年1月30日～ 12月25日

V 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、長崎原爆資料館内で原爆に関する書籍や平和グッズを販売するミュージアムショップを運営しています。平成28年から店舗でのクレジットカード決済を導入しました。また同年11月から、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館に寄贈された折り鶴の再生紙から作られたグッズを販売しています。ホームページでも書籍・グッズの紹介やオンライン販売受付なども行っています。

さらに、ミュージアムショップで販売している書籍・グッズが長崎市ふるさと納税の謝礼品として登録されました。



折り鶴再生紙のグッズ

ミュージアムショップホームページ

URL: <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

フォト特集！ 2017年被爆72年を振り返って

「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」の基本理念のもと様々な事業を実施しました。

「永遠の会」朗読会「9日を忘れない」の活動（通年）



山端庸介生誕100年記念写真展（8月）



平和案内人全体会（AED研修）（9月）



アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム（2月）



協会設立記念「一龍齋春水氏」講演会（2月）



公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き

平成29年(2017年)

- 4月7日 第1回継承部会総会
- 4月16日 第1回平和案内人全体会
- 4月21日 ポットラックパーティー (国際交流部会)
- 5月15日 第1回運営会議
第1回通常理事会
- 5月19日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 5月30日 定時評議員会
臨時理事会
- 6月7日 第1回広報委員会
- 6月16日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 7月13日 第2回運営会議
- 7月21日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 8月2日~7日 山端庸介生誕100年記念写真展 (写真資料調査部会)
- 8月18日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 8月22日 第2回継承部会総会
- 8月23日 第2回広報委員会
- 9月9日 第2回平和案内人全体会
- 9月10日 アジア青年平和交流事業発表・審査会
- 9月22日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 9月25日~11月5日 海外原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」
(ベトナム・ハノイ市)
- 10月11日~3月14日 平和ボランティア育成外国語講座
- 10月13日 第1回事業推進委員会
- 10月28日 国連軍縮週間行事「市民のつどい」
- 11月4日 外国人と市民の集い (国際交流部会)
- 11月20日 第3回広報委員会
- 12月9日・10日 長崎国際平和映画フォーラム2017
- 12月15日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 12月27日 第3回運営会議



8月2日~7日
山端庸介生誕100年記念写真展



9月10日
アジア青年平和交流事業発表・審査会



11月4日
外国人と市民の集い



平成30年(2018年)

- 1月19日** 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 1月27日** 第3回平和案内人全体会
- 2月1日～7日** アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム
- 2月12日** 一龍齋春水氏講演会
～一龍齋春水が語る「火垂るの墓」～
- 2月16日** 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 2月17日** 継承部会・平和案内人交流会
- 2月21日** 第4回広報委員会
- 2月22日** 海外活動報告会 (継承部会・ピーストーク研修班)
- 2月28日** 永遠の会、継承部会、平和案内人合同研修
「原爆先生の特別授業～7,000℃の少年～」
- 3月4日** 市民対象碑めぐり (継承部会・原爆遺跡研修班)
- 3月8日** 第2回事業推進委員会
- 3月9日** 第1回財務・組織委員会
- 3月11日** アジア青年平和交流事業成果報告会
- 3月15日** 第4回運営会議
第2回通常理事会
- 3月20日** 第3回継承部会総会



2月1日～7日
アジアの若者による
平和ネットワーク構築プログラム



2月17日
継承部会・平和案内人交流会



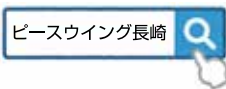
3月4日
市民対象碑めぐり



平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が
受け止めている様子を表しています。

(公財)長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>



QRコードからもホームページへ
アクセスできます。

会員募集中

協会会員になって、一緒に平和の輪を広げませんか？